



総合のレポート

年明けが締め切りだった「総合的な学習の時間」（必修・1単位）のレポートもほぼ全員が提出した。さて、みんなが選んだテーマが最終的にどのようなものだったのか、順不同で挙げてみよう。

- 本のできる過程について
- ディズニーのホスピタリティについて学ぶ
- 社会における音楽の変遷（演奏空間としてのコンサートホールの起源と歴史）
- 鉄道の歴史と都市の発達
- 薬について
- 様々な災害を体験し、防災について考える
- 憲法改正について
- 楽器の起源とその変遷
- チャイコフスキーの生涯と作曲
- 法と裁判
- 大学留学について
- 日本サッカーの歴史と発展
- ニュートリノ
- 戦国時代の各地方の流れ
- 葛西臨海公園の生態系
- 自己肯定感
- ポスターの訴え
- 化学史
- パラサイトとの関わり方
- 新薬が開発されるまでの過程
- 少年ジャンプの裏をリアルスコープ
- 日本国憲法を知る
- デザインの可能性について学ぶ
- 昭島市の水について
- 江戸時代のすべて
- 区の行政と地域のつながり
- 将門について
- 裁判の仕組みを学ぶ

- 日本の伝統色
- チャイコフスキーの生涯と作曲
- 人格形成について
- 江戸から東京への伝統文化（下町独特の文科・歴史の変遷）
- 地方図書館と中央図書館の違い
- 寄生虫について
- 東京の水道の歴史、そして今後
- メディアに携わる人々とメディアに関わる技術
- 食の衛生管理

*

今後、私の他に、K先生、M先生、N先生にそれぞれのレポートを読んでいただいて、1単位にふさわしいレポートには合格が与えられるが、不十分なレポートについては再提出が求められることになるだろう。提出されたものの中には、単に訪問先や調べたことの事実の報告だけが記載されていて、その過程で考えたことや学んだことなど、自分の意見や感想が十分に書かれていないものがあったが、このような学習レポートでは、最後に「まとめ」として、レポートの意見や感想を報告するのは常識である。その部分が不足しているものは再提出になるだろう。

来年は、「大学研究」がレポートのテーマとなる。以前のこの通信で「京都大学こころの未来研究センター」について紹介したが、しっかり調べてみると、本当に自分のやりたいことや、それができる大学・学部が見えてきたりするものだ。来年のレポートもぜひ積極的に取り組んで、悔いのない進路選択の一助にしてほしい。